

祝卒業



「生まれ出づる悩み」

校長 村上英治



有島武郎の「生まれ出づる悩み」は私の好きな作品です。貧しい木本という少年が「私」を訪ねてきます。彼は尋ねます。自分は絵で（芸術家として）生きてゆけるかと。深い苦悩の色がにじんでいます。しかし、「私」は答えを出しません。

月日は流れ10年後、少年は「仁王のようなたくましい」漁師になって再び「私」の前に現れます。「漁夫（りょうし）は多いども腕力（うでぢから）にかけておらにかなうものは一人だっていねえ」と豪語する若者になっていたのです。

生活に追われているのは確かで、貧しい暮らしぶりはすぐわかりました。しかし、「私」はその言葉の中にも絵を描いて生きていきたい、芸術家として生きていきたいという思いを感じ取ることはできました。ふたりは夜遅くまで語り合い、翌朝青年は別れを告げ自分の住む町へと帰ります。ここでも、「私」は彼にどちらの道に進むべきかの答えを出しません。「それを軽々しく言うのはあまりに恐ろしい事だ。それは神から直接君に示されなければならない。」との思いからです。

私はこの作品を読んで考えます。

人生というのは選択の連続であるということ。しかも、その選択というのは苦悩の連続の中からしか生まれないものだという。日々を過ごしていけば、必ず多くの岐路に我々は立たされるはず。

その岐路に立った時、人は悩み葛藤します。しかし、苦しくとも己の自覚と責任のもとで選びとらない限り、一步も進まないということを皆さんは知っているはず。

自分はどちらを選びとるのか・・・。

私の考えはこうです。

目の前に二つの道が示されたのなら、迷いながらも自分にとって苦しい道はどちらなのかを考えます。そして、私は苦しい道を選びたい。実は苦しい道こそが自分にとって本当に歩みたい道なのだと信じるからです。

本意でない道を歩いて、自分の本当に進みたかった道はもう一つの方だったといつも悔いながら生きるのは辛いことだと考えるからです。

たとえ、選んだ道がつかなく厳しいもので、目標に到達することができなかったとしても、自分にとって苦しい道を選びとったことに誇りを持ちたいからです。

有島武郎の「生まれ出づる悩み」はそんなことを考えさせてくれる作品です。

高校3学年主任 杉村先生

卒業おめでとう

大半の卒業生の進路が決定しました。東海大学、他の大学、専門学校と。さらに、上級の学校へ進学し、知識・技能を高める人、就職して社会人となり、四月から活躍する人。

それぞれの決意でのもと新たな旅立ちをしていく若者たちを担当をはじめ、我々教員が、諸君の大切な進路のお手伝いできたことを嬉しく思います。

ただ、毎年、マスコミの報道で一年以内、三年以内の学校の退学率や職場の離職率が20%とか30%とか……などというニュースを目にするたびに、卒業生の顔を思い浮かべ、心配しております。保護者の方々は、我々以上であることは間違いありません。

退学、転学、退職、転職がすべて良くないとは申しませんが、「石の上にも三年」と申します。そんな時がもし来たら、自分自身の置かれている現状、将来のことを冷静に考え、決断してください。一度しかない青春時代を大切にしてください。

健康と健闘を祈ります。

さようなら。 卒業生諸君へ



中等部3学年主任 田中先生

中等部3年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様には、これまで本校の教育活動に常にご理解ご協力を賜り、本当にありがとうございました。泣いたり笑ったり、毎日一生懸命に学校生活に取り組む生徒たちの姿に我々教員も元気づけられ過ぎてまいりました。

3年間の思い出は尽きないものがありますが、新1年生として、新しい制服を着て、新しい鞆を肩に掛け、新しい靴を履き、初めて一人で登校しエントランスホールに集合した時の初々しさは特に印象的です。あれから、あっという間に3年間で過ぎようとしています。生徒たちは心身共に大きく成長しました。特に、3年生夏の大会やコンクールなどでは、最後の最後まで勝利を信じてチームメイトと力を出し切り、応援をしている全ての人に感動を与えることができました。優勝すること、結果を出すことがみんなの一番の目標ではありましたが、それ以上に、その目標に向かって仲間と努力すること、困難に立ち向かっていくことが大切であることを学ぶことができたと思います。

4月から、いよいよ高校生としての生活が始まります。すでに、それぞれの生徒が高校生活に向けての準備を進めています。これから更に一人一人の責任ある行動が求められます。中学校3年間で学んだことをステップにして、新たな目標に着実に前進してください。



継承

高校生徒会長 2年2組 関亜貴升

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

ご卒業される先輩方はいかなる時でも本校の最上級生として、私たち後輩の良き見本となり、熱心にリードして下さいました。部活動や資格取得、課題研究などで目標達成に向けて努力を惜しまず励まれ、多くの成果をあげられた姿はいつも眩しく、輝いて見えました。今後も、様々な経験を積み重ねて自分を磨き、常に挑戦する心を忘れず、大きく前進されることと思います。

もう、まもなく卒業の時を迎えられる先輩方は、希望と夢を抱いて新しい世界に羽ばたこうとしています。卒業式を終えると、その先には一人一人の新たな長い旅路が待っています。これから始まる旅の途中で、大きな苦労や困難にぶつかることもあると思いますが、今まで積み重ねてこられた知識と経験を礎に乗り越えられる事でしょう。

私達在校生は、その背中から学んだ一生懸命に努力することの素晴らしさ、仲間を信じることの大切さを忘れず、私も生徒会長として今まで築き上げてこられた素晴らしい伝統を引き継ぎ、より良い学校にしていくことを誓い、高い志を持って後に続いていけるよう、頑張っていきたいと思います。

ご卒業されます先輩方より一層のご活躍とご健康をこれからもお祈りしております。

抱負

中等部生徒会長 2年D組 岩下草太

僕は、今までの先輩方が築き上げてきた、すばらしい伝統や心掛けを守り続けるとともに、さらに良くしていきたいと思っています。例えば、静岡翔洋中等部には、「あいさつ・礼儀・身だしなみ・美しい環境」という心掛けがあります。僕は、その心掛けを先輩たちに言われてからやるのではなく、自分で進んでやるようにしていきたいと思っています。また、幼稚園や小学校、高校、大学、地域の人との交流を深め、自分より年下の人には優しく、年上の人には敬意を持って接することができる学校作りを目指していきたいです。

「あたりまえのことをあたりまえにできる」静岡翔洋中等部生を次の世代にも伝えていけるように頑張りたいです。

中等部生徒副会長 2年A組 三浦麻衣

私は副会長として、普段の生活からしっかりとし、「副会長」という名前に恥じないように気をつけていきたいと思っています。そして、副会長の仕事で一番大切なことは、会長を支えながら一緒に学校のために全力で取り組むということです。

私は、一年生の頃から生徒会に入り、先輩たちが学校のために頑張っている姿を見てきました。私はいつも先輩たちの姿を見て、カッコいいと思い、自分も先輩たちのようになれば良いと思い、副会長に立候補しました。投票で、みんなが承認してくださったおかげで無事に副会長になることができ、とても嬉しいです。しかし、いざなると私に副会長としての役目を果たすことができるのか、私は心配になりました。でも、自分に投票してくれた人たちの期待に応えられるように頑張っていきたいと思っています。

これから副会長として、しっかりとした考えを持ち、まず考えてから行動をし、一つ一つの行動に責任を持って生活していきたいと思っています。

進路 2015年度3年生の大学進学状況

◆東海大学付属推薦 ～医学部2名・看護1名 進学～

文学部	28名	基盤工学部	1名	観光学部	0名
海洋学部	27名	政治経済学部	9名	農学部	1名
経営学部	0名	体育学部	7名	法学部	8名
医学部	2名	教養学部	5名	健康科学部	4名
国際文化学部	4名	理学部	2名	工学部	16名
情報理工学部	3名	情報通信学部	8名		
東海大学短期大学部（静岡）	12名			ハワイ東海インターナショナルカレッジ（HTIC）	3名

◆他大学

静岡大学，横浜市立大学，静岡県立大学短期大学部，新潟県立大学，青山学院大学(2)，中央大学，法政大学，東京理科大学，日本大学(3)，東洋大学，専修大学(2)，神奈川大学，南山大学(2)，近畿大学，東京電気大学，金沢工業大学，帝京平成大学，名城大学，岡山商科大学，了徳寺大学，工学院大学，国際武道大学，帝京科学大学，城西大学，明海大学，常葉大学(3)，静岡産業大学，静岡英和学院大学，阪南大学，武蔵大学，静岡福祉大学(2)，中京学院大学，江南女子大学，神奈川歯科大学，東海学園大学，鶴見短期大学(2)



※卒業生の進路情報（詳細）は，卒業式次第，PTA 総会資料にて掲載いたします。

春の全国大会 みんなで応援しよう

中等部野球部 3月25日～28日（草薙球場他）

文部科学大臣杯 第7回全日本少年春季軟式野球大会に出場

中・高チアリーダー部 3月25日～26日（千葉幕張メッセ）

USA NATIONALS 全国大会に出場 Songleader 部門、Jazz 部門

高校美術部 3月17日～21日（佐渡市）

「第16回全国高等学校版画選手権（はなが甲子園）」に出場

久保田かおり、鈴木維円（付属静岡翔洋中出身）古松萌加（城山中出身）

高校柔道部 3月19日（土）（日本武道館）

全国高等学校柔道選手権大会に出場

男子個人戦 73kg 級 渋谷 恭英（鶴田町立鶴田中出身）

女子個人戦 63kg 級 杵淵 萌（新潟市立白根第一中出身）

